

1. 貧困をなくそうの企業の取り組み

日本証券

〈こどもサポート証券ネット〉

・ 目的

証券会社の提供できるリソースを子供の支援に向けた活動に有効活用することにより、我が国における子供の貧困問題の解決に資することを目的とする。

・ 仕組み

1つ目は「会員証券会社は提供できる支援を、NPO法人等は受けたい支援をそれぞれ登録し、相互に登録内容の閲覧や交流ができる仕組み（支援活動等を行いたい会員証券会社とNPO法人等を繋ぐマッチング機能）」。2つ目は「会員証券会社のNPO法人等の支援の事例を登録し、会員証券会社間で共有できる仕組み（会員同士でベストプラクティスを共有する情報共有機能）」

このように「こどもサポート証券ネット」の趣旨に賛同する会員証券会社などの会社を中心に集まってこの取り組みを進めています。

日本証券

〈こどものみらい古本募金〉

証券業界では、全ての子供達が希望を持って成長できる社会の実現に向けて、内閣府等が主導する「子供の未来応援国民運動」の一環である「こどものみらい古本募金」（古本等を活用した寄付プログラム）に業界全体で取り組むこととなりました。

寄付総額は2020年6月末時点で2,761,240円、総寄付冊数は118,450冊となっています。

Panasonic

- 世界では約6人に1人、約11億人が電気のない暮らしを送っています。パナソニックは無電化地域にあかりを届けることで、教育、医療、経済、安全などの課題の解決に貢献することを目指して、2013年から2018年にかけて10万台以上のソーラーランタンを寄贈してきました。
- パナソニックの企業市民活動（社会貢献活動）は、「事業を通じて社会の発展に貢献する」という創業当初より掲げる経営理念に基づき、誰もが歡びを分かち合い生き生きとくらすことのできる共生社会の実現に向け、人材育成・機会創出・相互理解の3つの領域で貧困の解消に取り組んでいます。
- 「ソーラーランタン10万台プロジェクト」は機会創出を通じて貧困解消に取り組む活動の一つです。

Panasonic

〈Life With Dignity ~ソーラーランタン~〉

- ・ 村の保健支援グループ

村人への保健教育や、夜間の緊急診療などでソーラーランタンが使用されています。

- ・ コミュニティ学習センター

夜に開催される読書クラスで、また、教師が授業の準備をする際にソーラーランタンが利用されています。

- ・ 一般家庭

今回、パナソニックさんと相談のもと、貧困家庭への配布を行わせていただきました。片親で子どもが3人以上いる家庭という基準を明確にし、配布によってコミュニティ内に不和や紛争が起きないように配慮しました。また、ソーラーランタンが適切に使われるように、配布先家庭との間に覚書を交わしています。

各家庭では、夜、子どもたちの宿題や夕食の調理、夜間の家庭菜園での作業などに使われています。

Panasonic 寄贈団体からの便り~Life With Dignity~より

https://panasonic.net/sustainability/jp/lantern/2014/08/voice_lwd.html

URL

〈日本証券〉

<https://www.jsda.or.jp/about/kaiken/files/191016shiryoku4.pdf>

<https://www.jsda.or.jp/sdgs/furuhon.html>

〈Panasonic〉

https://panasonic.net/sustainability/jp/lantern/2014/04/201404_kamonohashi.html

https://panasonic.net/sustainability/jp/lantern/2014/08/voice_lwd.html